

旧：個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発 (「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発」の一部)

平成25年度予算額 : 37.0億円
 平成26年度予算額 : 33.0億円

事業の内容

事業の概要・目的

○世界的に成長著しいバイオ医薬品分野は、我が国では海外生産を中心とした輸入超過産業となっています。我が国は、患者の利益に適う最先端医薬品の創出が期待される世界最大の天然化合物ライブラリや、高度な製造技術を有していますが、制度、技術の両面で対応が遅れているため、海外に比べて新薬開発に多大なコスト、時間を要しています。健康寿命世界一に向けた我が国での次世代医薬品創出のためには、個別化医療に対応した制度整備とともに、本事業によって、ボトルネックとなっている技術的課題を解決します。

○具体的には、次世代医薬品創出のため、産学官が一体となり、以下の研究開発を実施します。

- ①次世代抗体医薬等の安定生産技術（高度な製造設備により最先端医薬品創出を実現）
- ②IT創薬技術（天然化合物の安定生産技術開発、ライブラリーの拡充、疾患原因タンパク質の分析、IT技術を活用したスクリーニング）

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国

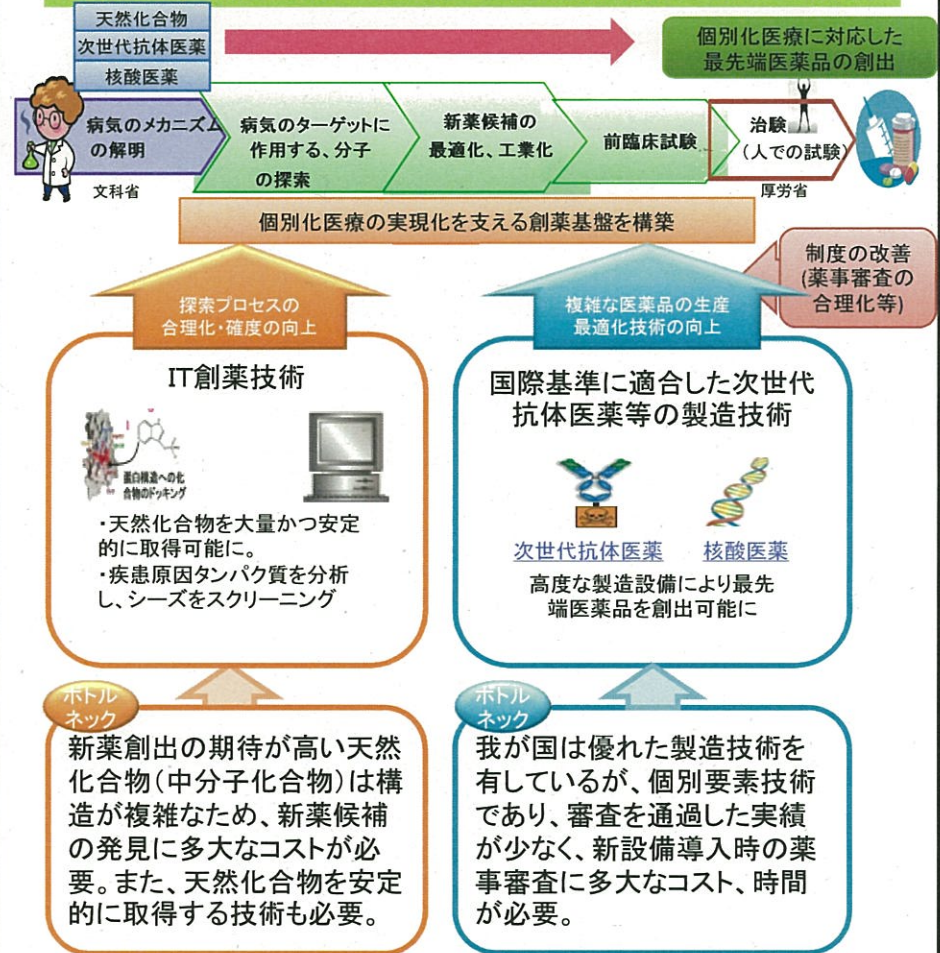
委託

補助（2/3又は1/2）

民間団体等

事業イメージ

個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤の構築



◆制度、技術の側面での課題解決により、従来の医薬品に代わる最先端医薬品の創出を推進するとともに、医薬品開発・製薬コストの低減、ひいては医療費の低減を図る。